

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付

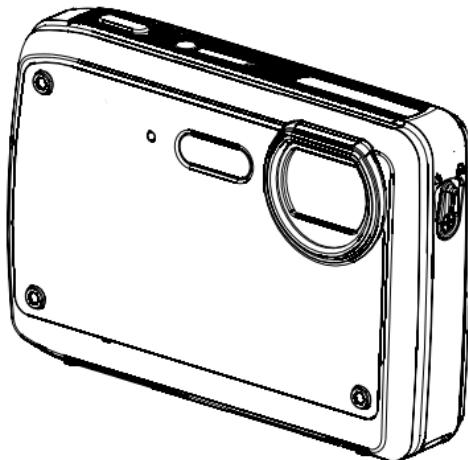
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-W902形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-W902」をお求めいただき、
まことにありがとうございました。

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。



クイックスタートガイド

「とにかく使ってみる」 P126

※はじめに(P4~P14)および

重要!日常生活防水について(P8~P9)を
必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

i.mega

目次

はじめに

4

| | |
|------------------------|----|
| ■ 安全上のご注意 | 4 |
| ■ 重要！日常生活防水について | 8 |
| ■ あらかじめご承知頂きたいこと | 10 |
| ■ 使用上のご注意 | 11 |
| ■ 商品概要 | 15 |
| ■ 同梱品 | 16 |
| ■ 各部の名称 | 17 |
| ■ 液晶モニターの表示 | 21 |

基本操作編

25

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

| | |
|------------------------|----|
| 準備する | 26 |
| ■ 電池を入れる | 26 |
| ■ 電源のオン／オフ | 28 |
| ■ 電源周波数を設定する | 30 |
| ■ SDメモリーカードを使う場合 | 32 |
| ■ 初期設定に戻す | 35 |
| 静止画／動画(映像のみ)を撮る | 38 |
| ■ 静止画を撮る | 38 |
| ■ ストロボを使う | 40 |
| ■ ズームを使う | 42 |
| ■ 近距離撮影をする | 43 |
| ■ 動画(映像のみ)を撮る | 44 |
| 静止画／動画(映像のみ)を見る | 47 |
| 画像を消去する | 50 |

応用操作編

55

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

| | |
|--------------------------|----|
| 準備について | 56 |
| ■ 表示言語を設定する | 56 |
| ■ オートパワーオフの時間を設定する | 58 |
| ■ 画面表示を設定する | 60 |
| ■ ファイル番号をリセットする | 61 |
| ■ 液晶モニターの明るさを設定する | 63 |

| | |
|---|-----------|
| 撮影(静止画／動画(映像のみ))について | 65 |
| ■ シーンモードを設定する | 65 |
| ■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する | 67 |
| ■ 露出(明るさ)補正を設定する | 71 |
| ■ ISO感度(明撮像感度)を設定する | 72 |
| ■ ホワイトバランスを設定する | 74 |
| ■ シャープネスを設定する | 76 |
| ■ 色効果を設定する | 77 |
| ■ コントラストを設定する | 78 |
| ■ 測光方式を設定する | 79 |
| ■ セルフタイマーで撮る | 81 |
| 再生(静止画／動画(映像のみ))について | 83 |
| ■ スライドショー再生をする | 83 |
| ■ 画像保護を設定する | 85 |
| ■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする (コピー to SDカード機能) | 89 |
| 消去について | 91 |
| ■ フォーマットする | 91 |

パソコン接続編 **93**

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

| | |
|------------------------------------|-----|
| ■ パソコンの動作環境を確認する | 94 |
| ■ パソコンと接続する場合の流れ | 94 |
| 1 カメラとパソコンを接続する | 95 |
| 2 画像ファイルをパソコンにコピーする (リーダ／ライタ接続) | 98 |
| 3 カメラを取り外すときは | 100 |
| ■ パソコン接続でお困りの時の確認方法 | 102 |

付録 **111**

| | |
|---------------------|-----|
| ■ 故障とお考えになる前に | 112 |
| ■ 仕様 | 120 |
| ■ メニュー項目と設定内容 | 122 |
| ■ 索引 | 123 |
| ■ SDメモリーカード内のフォルダ構造 | 124 |
| ■ サービス／ご相談窓口 | 125 |
| ■ クイックスタートガイド | 126 |

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようにになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる
危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される
内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が障害を負う可能性が想定される内容および
物的損害のみの発生が想定される内容を示して
います。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警 告



異常が起きたら、電池を外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



移動しながらの撮影は絶対にしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない(ケースは絶対に開けない)。

落としたり、ケースが破損したときは使用しない。

火災・感電・浸水の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。



種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混せて使用しない。または指定外の電池を使用しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠ 警 告



アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。



電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。

アルカリ電池は充電しない。

電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性(+)(-)表示どおりに入れてください。



お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。



落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



ストロボを人の目に近づけて発光しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。

特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠ 注意



コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。



大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。



飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。

事故の原因になることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、
直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。



本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないで
ください。やけどの原因になる場合があります。

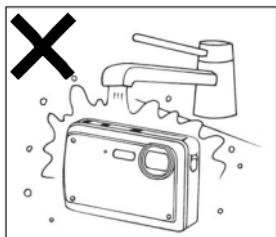


カメラをストラップで下げている場合は、他のものに
引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないように
注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

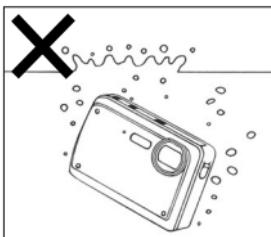
■ 重要！日常生活防水について

本機は日常生活防水の性能を備えております。

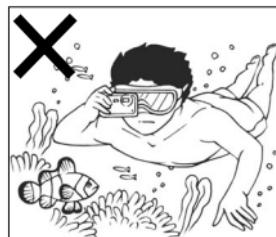
日常生活防水とは、雨天時や日常生活における水しぶき(雨および汗や洗顔の時の水しぶき)に対する防水性能を指し、水中撮影や強烈な水しぶき(水仕事、水上スポーツ、素潜りなど)に対して保証するものではありません。(日常生活防水：本機の試験条件(水深1m／1h))取扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、カメラや乾電池、メモリーカードの損傷、および記録内容の補償はいたしかねます。



- 水で洗わないで
ください。



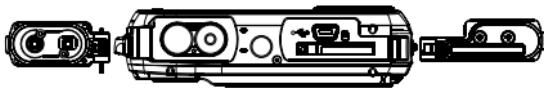
- 水の中に落とさない
でください。



- 水中の撮影は
できません。

⚠ 注意

使用時のご注意



- ・電池カバーやUSB端子／メモリーカードカバーを閉じる時は、各カバーのゴム部分に髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。
- ・電池カバーやUSB端子／メモリーカードカバーを完全に閉じていないと、浸水の原因になります。各カバーは完全に閉じてください。
- ・付属品は日常生活防水に対応しておりませんのでご注意ください。
- ・本機に強い衝撃を与えないでください。各カバーや本機が変形し、浸水の原因になる場合があります。

保管やお手入れのご注意

- ・水しぶきなどを浴びてカメラに水滴がついた場合は、早めに乾いた布などで水滴をふき取ってください。
- ・カメラに水滴がついた状態で各カバーの開閉をおこなわないでください。
- ・0℃以下の低温や40℃以上の高温および85%以上の高湿になる場所に長時間放置しないでください。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- ・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- ・万一、本機により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- ・故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- ・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・SD口ゴは登録商標です。
- ・その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0°C～40°C（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができない原因となりますので、ご注意ください。

温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。

また、内部に結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。

本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。

また、単4形マンガン乾電池は使用できません。

万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下の取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
 - 通信中にUSBケーブルをはずした。
 - 記録、USB接続中に電池をはずした。
 - 消耗した電池を使用し続けた。
 - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
 - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとつから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなったり、光の帯が表示されることがあります、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカードを使用できます。
(32/64/128/256/512MB/1/2/4/8GB(SDHC)対応)
(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSD
メモリーカードを推奨します。
miniSD/microSDカードでの動作は保証いたしません。
ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書を
あわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで
使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で
フォーマット(初期化) P91 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合が
あります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が
落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする P91** こと
をおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または
破損することがありますので、大切なデータは別のメディア
(DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど)へ、バックアップ
としてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面(コンタクトエリア)にゴミや異物を
付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、
軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、約900万画素CMOSセンサー搭載による高画質はもちろん、スリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

主な特長

- 約900万画素CMOSセンサー搭載
- 日常生活防水(本機の試験条件:水深1m/1h) **P8**
- 保存も安心の16MB内蔵フラッシュメモリ&SDメモリーカード
スロット搭載(※1) **P32**
- 保存に便利なコピー to SDカード機能 **P89**
- 動画撮影機能(映像のみ) **P44**
- スポーツ/夜景/人物/遠距離/バックライトとシーンに
あわせて撮影できるシーンモード搭載 **P65**
- 白黒やセピア色で雰囲気のある撮影を演出する色効果設定機能
P77
- 多彩な再生モード
(シングル再生 **P47**、ズーム再生(2倍/3倍/4倍) **P48**、
動画再生(映像のみ) **P49**、スライドショー再生 **P83**)
- すぐに使えるオールインワンパッケージ **P16**

(※1) SDメモリーカードは別売です。

■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

・カメラポーチ



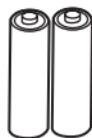
・ストラップ



・専用USBケーブル



・単4形アルカリ
乾電池(動作確認用)



・取扱説明書



- SDメモリーカードは別売です。 **SDメモリーカードを使う場合 P32** 、 **SDメモリーカードについて P14**
- 以降、この取扱説明書では、専用USBケーブルをUSBケーブルと表記します。

■ 各部の名称

正面

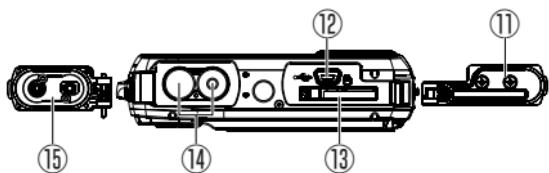
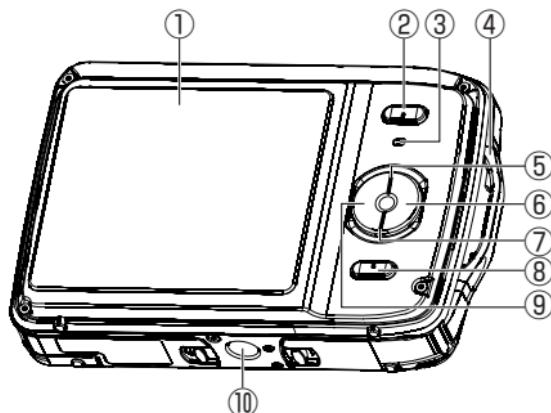
- ①シャッター
- ②電源ボタン
- ③ストロボ
- ④レンズ

- ⑤撮影距離切替スイッチ
- ⑥セルフタイマーランプ

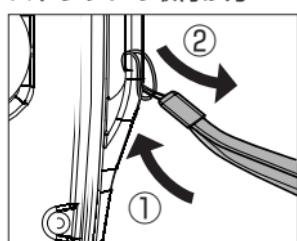


背面

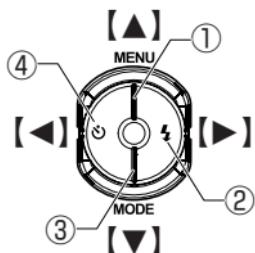
- ①液晶モニター
- ②SET(ズーム)ボタン
- ③動作確認ランプ
- ④ストラップ取付部
- ⑤MENU(メニュー)ボタン
([▲]上ボタン)
- ⑥ストロボボタン
([▶]右ボタン)
- ⑦MODE(モード)ボタン
([▼]下ボタン)
- ⑧再生ボタン
- ⑨セルフタイマーボタン
([◀]左ボタン)
- ⑩三脚ねじ穴
- ⑪USB端子／メモリーカードカバー
- ⑫USB端子
- ⑬SDメモリーカードスロット
- ⑭電池
- ⑮電池カバー



ストラップの取付け方



コントロールパネル



この取扱説明書では、コントロールパネルでの各操作の説明に、【▲】【▼】【◀】【▶】と表記していますが、カメラ本体(コントロールパネル部)には【▲】【▼】【◀】【▶】の表示はありませんのでご注意ください。

コントロールパネルの各ボタンには複数の役割があります。以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

| No. | ボタンの名称 | 機能 |
|-----|---------------|--|
| ① | 【▲】上ボタン | 各メニュー画面で上を選ぶ場合に使用します。 |
| | MENU(メニュー)ボタン | 各モード時に設定可能なメニューを表示させる場合に使用します。 |
| ② | 【▶】右ボタン | 各メニュー画面で右を選ぶ場合や再生画面で一つ後の画像を選ぶ場合に使用します。 |
| | ⚡ストロボボタン | 静止画撮影時にストロボモード(AUTO / ⚡強制発光 / ⚡発光禁止 / ⚡赤目軽減)を選ぶ場合に使用します。 |
| ③ | 【▼】下ボタン | 各メニュー画面で下を選ぶ場合に使用します。 |
| | MODE(モード)ボタン | 撮影モード(静止画撮影 / 動画撮影)を切り替える場合に使用します。 |
| ④ | 【◀】左ボタン | 各メニュー画面で左を選ぶ場合や再生画面で一つ前の画像を選ぶ場合に使用します。 |
| | ⌚セルフタイマー ボタン | セルフタイマー撮影をする場合に使用します。 |

SET(ズーム)ボタン



SET
Q

各メニュー画面で決定する場合や、静止画撮影時に
ズーム撮影をする P42 場合、静止画再生時に**ズーム
再生をする** P48 場合に使用します。

再生ボタン



撮影した静止画や動画を再生する場合や、再生モード
から撮影モードに戻る場合に使用します。

以降、この取扱説明書では、コントロールパネル、SETボタン、
再生ボタンでの操作を次のように表記します。

- ・コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作
 - 【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
 - 【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- ・SETボタンを押す操作
 - SETを押す
- ・再生ボタンを押す操作
 - を押す

動作確認用ランプ(グリーン)

動作確認用ランプは本機の状態を点滅や点灯、消灯でお知らせします。

動作確認用ランプ

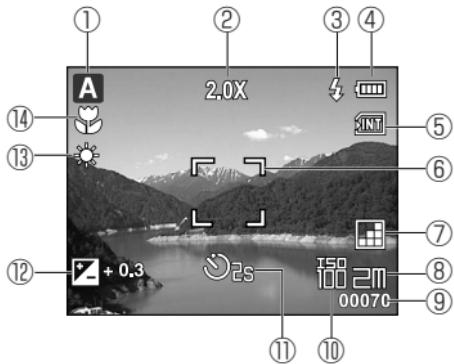


グリーン点灯：撮影スタンバイ中、
再生中など

グリーン点滅／消灯：画像記録中、
ストロボ充電中など

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 静止画を撮る P38



①静止画撮影モード P65

- Ⓐ オート
- ✿ スポーツ
- ✿ 夜景
- 人物
- ▲ 遠距離
- ▣ バックライト
- プログラムAE

②ズーム P42

2.0X~6.0X

③ストロボモード P40

オート（※オート時は非表示）

- ⚡ 強制発光
- ⓧ 発光禁止
- ⌚ 赤目軽減

④電池残量 P27

- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑤メモリ P32

- 内蔵メモリ使用
- SDメモリーカード使用

⑥フォーカスフレーム P39

⑦画質 P67

- ファイン（低圧縮モード）
- 標準（標準圧縮モード）
- エコノミー（高圧縮モード）

⑧画像サイズ **P67**

■ 3472×2604(約900万画素)

■ 2816×2112(約600万画素)

■ 2304×1728(約400万画素)

■ 1600×1200(約200万画素)

VGA 640×480(約30万画素)

⑨撮影可能枚数 **P121**

⑩ISO **P72**

オート(※オート時は非表示)

■ ISO64

■ ISO100

■ ISO200

■ ISO400

■ ISO640

⑪セルフタイマー **P81**

○ セルフタイマー2秒

○ セルフタイマー10秒

⑫露出(明るさ)補正 **P71**

(※設定値0時は非表示)

-2.0EV～+2.0EV(1/3ステップ)

⑬ホワイトバランス **P74**

オート(※オート時は非表示)

● 白熱灯

■ 蛍光灯1

■ 蛍光灯2

● 晴天

● 曇天

⑭撮影距離モード **P43**

■ 近距離

▲ 標準

■ 動画撮影モード時

動画(映像のみ)を撮る **P44**

本機はマイク機能を搭載していないため、映像のみの撮影になります。



① ■ 動画撮影モードマーク

② ○ ストロボモード **P40**

○ 発光禁止

③ ■ 電池残量 **P27**

■ 電池の残量は十分です。

■ 電池の残量が少なく

なっています。

■ まもなく電池の残量が

なくなります。

■ 電池の残量がありません。

④メモリ **P32**

内蔵メモリ使用

SDメモリーカード使用

⑤フォーカスフレーム **P44**

⑥画質 **P68**

ファイン

標準

⑦画像サイズ **P68**

VGA

QVGA

⑧撮影可能時間 **P121**

⑨セルフタイマー **P81**

⑩撮影距離モード **P43**

再生モード時（静止画）

静止画／動画（映像のみ）を見る **P47**



① 再生モードマーク

②電池残量 **P27**

③メモリ **P32**

④画質 **P67**

ファイン（低圧縮モード）

標準（標準圧縮モード）

エコノミー（高圧縮モード）

⑤画像サイズ **P67**

⑥ファイル番号 **P61**

⑦フォルダーファイル番号 **P61**

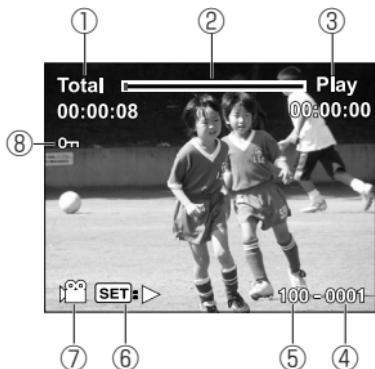
⑧ISO **P72**

⑨露出（明るさ）補正 **P71**

⑩~~0.3m~~ 保護マーク **P85**

※保護されている場合に表示

■再生モード時（動画） 動画（映像のみ）を再生する **P49**



- ①撮影総時間
- ②動画ステータスバー
- ③経過時間
- ④ファイル番号 **P61**
- ⑤フォルダー番号 **P61**
- ⑥動作モード **P49**

▷ 再生
□一時停止
□停止
▷▷ ⏵▷早送り
◁◁ ⏵◁巻戻し

- ⑦ ▴ 動画再生モードマーク
- ⑧ ◯ 保護マーク **P85**

※保護されている場合に表示

液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、[標準]／[全て]／[オフ]から選ぶことができます。 **P60**
[設定]メニューで切り替えます。

基本操作編

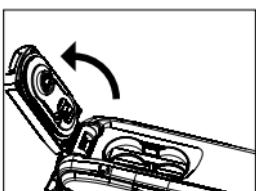
カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

| | |
|------------------------|-----------|
| 準備する | 26 |
| ■ 電池を入れる | 26 |
| ■ 電源のオン／オフ | 28 |
| ■ 電源周波数を設定する | 30 |
| ■ SDメモリーカードを使う場合 | 32 |
| ■ 初期設定に戻す | 35 |
| 静止画／動画（映像のみ）を撮る | 38 |
| ■ 静止画を撮る | 38 |
| ■ ストロボを使う | 40 |
| ■ ズームを使う | 42 |
| ■ 近距離撮影をする | 43 |
| ■ 動画（映像のみ）を撮る | 44 |
| 静止画／動画（映像のみ）を見る | 47 |
| 画像を消去する | 50 |

準備する

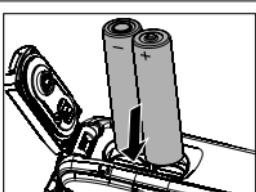
■ 電池を入れる

1



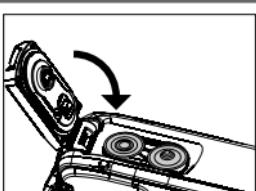
電池カバーを開きます。

2



+とーのしるしにあわせて電池を入れます。

3



電池カバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも微電流が流れています。長期間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。
- 電池カバーやUSB端子／メモリーカードカバーを閉じる時は、各カバーのゴム部分に髪の毛やほこりなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉じてください。

使用できる電池

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池（充電式）を使用できます。

液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- ・単4形マンガン乾電池は使用できません。
- ・本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- ・同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P121）は、約80枚です。
より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単4形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。

電池残量の表示

 電池の残量は十分です。

 電池の残量が少なくなっています。

 まもなく電池の残量がなくなります。

（この表示の場合は、ストロボの充電中に電源がオフになりましたり、また、**フォーマットする P91**、**内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする P89**場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

 電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- ・使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- ・電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、**電池寿命の目安 P121**にてご確認ください。

■ 電源のオン／オフ

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

2



電源ボタンを押し、電源をオフにします。

電源ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直すか、電池カバー、USB端子／メモリーカードカバーを一度開け閉めしてください。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートパワーオフ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は[1分] **P58**）と、自動的に電源がオフになります。

再び使用するときは電源ボタンを押し、電源をオンにしてください。

- パソコンとUSB接続している場合やスライドショー再生 P83 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 電源周波数(ヘルツ)を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあつた電源周波数で撮影することをおすすめします。

電源周波数のお買い上げ時の設定は [50Hz] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。



静止画撮影／動画撮影
／再生モードから【▲】
（MENU）を押します。
[撮影]／[再生]メニューが
表示されます。



[撮影] / [再生] メニュー
から [▶] で [設定]
メニューを選び、

【▲】【▼】で [電源周波数] を選び、

SETを押します。

3



【▲】【▼】で [50Hz] /
[60Hz] を選び、

SETを押します。

ここで選んだ電源周波数は、初期設定に戻す P35 操作や電源を
オフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P14 をあわせてご覧ください。

本機はSDメモリーカード(別売)を使用することができます。

(32/64/128/256/512MB/1/2/4/8GB(SDHC)対応)

SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。(内蔵16MB
フラッシュメモリ搭載)

また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする**

P89 こともできます。

•撮影可能枚数・時間の目安については、**画像記録枚数・時間 P121** をご覧ください。

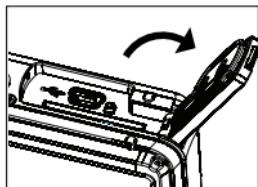
・ご使用中のSDメモリーカードのカードサイズやメモリー残量の情報は、[設定]メニュー内[メディア情報]で確認できます。

SDメモリーカードを使用していない場合は内蔵メモリの情報が確認できます。

メニュー項目と設定内容 P122

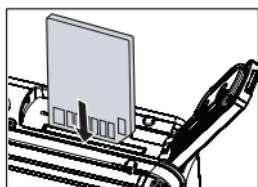
操作方法は、【▲】(MENU)を押して、【◀】【▶】で[設定]メニューを表示させ、【▲】【▼】で[メディア情報]を選びSETを押します。

1

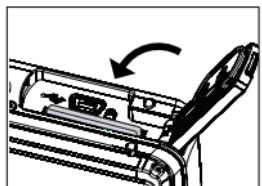


電源がオフであることを確認してから、USB端子／メモリーカードカバーを開きます。

2



SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを挿入します。
SDメモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

USB端子／メモリーカードカバー
を閉じます。

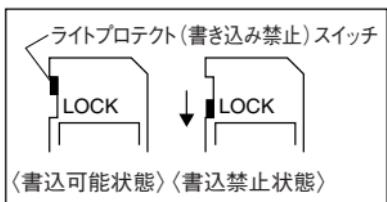
- USB端子／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDメモリーカードが優先されます。
SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
フォーマットする P91
- miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。

SDメモリーカードを取り出すには

USB端子／メモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。



SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)について



SDメモリーカードにはライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがついています。

ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードロック」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまった時など、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1



静止画撮影／動画撮影／再生モードから【▲】(MENU)を押します。
[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2



[撮影]／[再生]メニューから【▶】で[設定]メニューを選び、



【▲】【▼】で[初期設定に戻す]を選び、



SETを押します。

確認画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で【取消】／
【実行】を選び、

SETを押します。

- ・[取消] を選ぶと、各設定を初期設定に戻さずに、[設定]メニュー画面に戻ります。
- ・[実行] を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、[設定]メニュー画面に戻ります。

各項目の初期設定

| 設定項目 | 初期設定 |
|--------------|------|
| ストロボモード P40 | 発光禁止 |
| シーン P65 | オート |
| サイズ P69 | 9M |
| 露出補正 P71 | 0 |
| ISO P72 | オート |
| 画質 P70 | ファイン |
| ホワイトバランス P74 | オート |
| シャープネス P76 | 標準 |
| 色効果 P77 | 標準 |
| コントラスト P78 | 標準 |
| 測光方式 P79 | 中央 |
| オートパワーオフ P58 | 1分 |
| 画面表示 P60 | 標準 |
| 液晶の明るさ P63 | 標準 |
| スライドショー P83 | 5秒 |

言語の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

静止画／動画(映像のみ)を撮る

■ 静止画を撮る

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

2



両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。

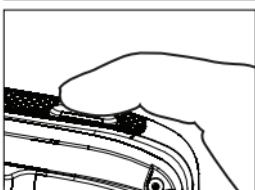


3



被写体をフォーカスフレームに合わせシャッターボタンを押します。
シャッターがれます。

撮影後に動作確認用ランプが点滅している場合は、画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。



手ぶれについて

- ・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。
- ・室内での撮影や夜景モードでの撮影等、被写体の明るさが暗く、手ぶれしやすい場合は被写体や撮影モード(ストロボモードなど)を変更するか、三脚を使うなどして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

手ぶれを軽減するポイント

手ぶれは、撮影時にカメラが上下左右に動いたことにより発生いたしますので、カメラが動かないように注意することが上手に写真を撮影するためのポイントとなります。

本機で撮影する場合は、カメラ本体が動かないように心がけてください。

*本機には、手ぶれ軽減機能はついていません。

手ぶれを軽減する手順

1

身体が揺れにくい姿勢をとる。

3

手首が動かないようにする。
(手首に軽く力を入れる)

5

シャッターを押す時、
必要以上に強く押さない。

2

脇を軽く締める。
(脇に軽く力を入れる)

4

肘は楽にする。
(動きやすくする)

6

画像の取り込みが
完了するまで、
カメラと身体を動かさない。



■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1



静止画撮影モードで、**【▶】(⚡)**を押します。

ストロボモード選択画面になります。

2



【◀】【▶】で設定したい
ストロボモードを選び、



SETを押します。

液晶モニターに選んだストロボ
モードがアイコン表示されます。
(オートの場合は表示されません)

| ストロボモード | 設定内容 |
|-----------------------|---|
| Ⓐ オート | 撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。 |
| ⚡ 強制発光 | 常にストロボを発光させます。 |
| ⑤ 発光禁止 初期設定 | ストロボは発光しません。 被写体を自然に撮りたいときに使用します。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなります。 |
| ⌚ 赤目軽減 | 暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。 撮影のためのストロボの前に一度ストロボが発光します。 |

- ストロボモードをオートに設定している場合は、アイコンは表示されません。
- ストロボの運動範囲(推奨)は、約60cm～約200cmになります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定 P72** などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す P35** 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は、ストロボの充電中に電源がオフになることがあります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
- 動作確認用ランプが点滅している場合はストロボの充電中で、撮影はできません。
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、撮影することはできません。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わることあります。

■ ズームを使う

被写体をズーム倍率(デジタルズーム)2倍、3倍、4倍、5倍、6倍で拡大して撮影できます。

1



静止画撮影モードで、ズーム(SET)

ボタンを押して、ズームを調整します。

ズーム(SET)ボタンを押すごとに倍率が2倍～6倍に切り替わります。

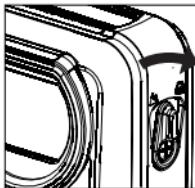


- ここで選んだデジタルズームは、モードを変更したり、再度電源を入れ直したりすると、ズームなし(標準)に戻ります。
- 動画撮影モード時はズームを利用することはできません。
- 撮影距離切替スイッチが (近距離モード)に設定されている場合も、ズームの調整はできます。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。

■ 近距離撮影をする

近距離モードに設定して撮影すると、約70cm～約130cmの近距離撮影が可能になります。

1



静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを (近距離モード) に切り替えます。
液晶モニターに が表示されます。

近距離モード：

撮影可能範囲約70cm～約130cm

標準モード：

撮影可能範囲約130cm～∞

近距離モードと標準モード以外の範囲では、焦点が合わない場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。

■ 動画(映像のみ)を撮る

本機は動画(映像のみ)を撮影できます。撮影した動画はカメラで再生することができます。

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

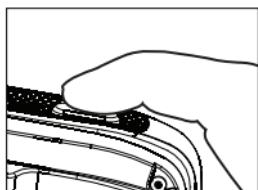
2



【▼】(MODE)を押して、
■ 動画撮影モードに切り替えます。

液晶モニターに ■ (動画撮影モードマーク) と撮影可能時間が表示され、動画撮影モードになります。

3

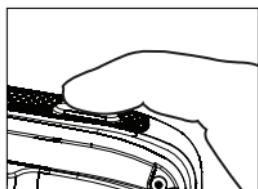


シャッターボタンを押します。

- ・ 液晶モニターに REC が表示され、撮影を開始します。
- ・ 撮影中は液晶モニターに撮影経過時間が赤字でカウントされます。



4



撮影をストップするときは、
シャッターボタンを押します。
動画撮影を停止します。

- 撮影に必要なメモリ残量がなくなると、メモリ不足と表示され撮影は自動的に停止します。
- セルフタイマー P81 撮影はできますが、ストロボ、ズーム撮影はできません。
サイズ P69 、画質 P70 、色効果 P77 、撮影距離モード P43 のみ設定可能です。
設定可能な項目については、メニュー項目と設定内容 P122 をご覧ください。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジやテレビ、携帯電話など)からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像が乱れる場合があります。

動画撮影モードから静止画撮影モードに戻る場合は、
【▼】(MODE)を押します。

動画ファイルについて

| | |
|----------------|---|
| 画像サイズ（記録画素数） | 640×480、320×240ピクセル |
| 記録画像ファイルフォーマット | AVI(Motion JPEG、音声なし) |
| フレームレート | 約30フレーム/秒 |
| 記録時間 | 内蔵16MBフラッシュメモリ時： 約11秒 SDメモリーカード1GB(別売)時： 約18分15秒 ※640X480、ファイン時 |

- 記録時間は、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 記録可能時間は、撮影開始前に、メモリー容量を確認し、一定のデータを記録することを考慮して、設定しています。そのため表示している記録可能時間より長く、記録できる場合があります。その時は、液晶モニター上に、再度設定された記録可能時間が表示されます。
- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player(※)などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
(※) Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。その場合は、コーデック(Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張(再生)を行うための専用プログラム)が含まれるDirectX 9.0などの、機能拡張ツールが必要です。

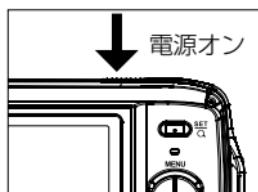
静止画／動画(映像のみ)を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生(2倍、3倍、4倍)、スライドショー再生、動画(映像のみ)再生があります。

スライドショー再生については、**スライドショー再生をする P83**をご覧ください。

シングル再生をする

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

2



□を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。(シングル再生)

3



【◀】【▶】で画像を選びます。

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。



ズーム再生をする

シングル再生で表示された画像を、2倍、3倍、4倍の倍率でズーム再生することができます。

動画像はズーム再生できません。

1



【◀】【▶】でズーム再生したい静止画像を選びます。

2



ズーム(SET)ボタンを押すごとに2倍、3倍、4倍で中央部分を拡大して再生します。



3



【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を調整します。

動画(映像のみ)を再生する

1



【◀】【▶】で再生したい動画を選びます。

2



SETを押すと再生をスタートします。

再生をスタートすると、液晶モニターに経過時間を表示します。

再生中の操作

SETを押す : ▶停止

【▼】を押す : □停止

【▶】を押す : ▷▷2倍速再生→△△4倍速再生→標準再生

【◀】を押す : ◁◁2倍速逆再生→△△4倍速逆再生

画像を消去する

画像を消去するには

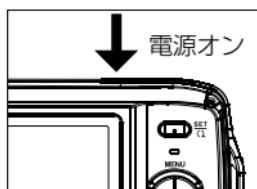
- ・1枚ずつ消去する
- ・全ての画像を消去する

の2つの方法があります。 □画面から操作します。

- 一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要な画像(ファイル)かどうかよく確かめてから行ってください。
特に全ての画像を消去する場合は、全ての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- 消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、電池残量にご注意ください。
- 画像保護 P85 された画像は消去できませんので、画像保護を解除してから操作してください。

1枚ずつ消去する

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

2

□を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。

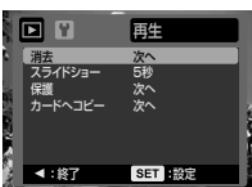
3

[◀][▶]で消去したい画像を選びます。

- ・動画像の場合には最初の1フレームが表示されます。

4

[▲](MENU)を押します。
[再生]メニューが表示されます。

5

[▲][▼]で [消去] を選び、

SETを押します。

6



【▲】【▼】で [一枚] を選び、

SETを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- この時点ではまだ消去されていません。

7



【▲】【▼】で [取消]／[実行] を選び、

SETを押します。

- [取消] を選ぶと、消去を中止して、[消去] メニューに戻ります。
- [実行] を選ぶと選んだ画像が消去され、シングル再生画面に戻ります。
続けて消去を行う場合は、再度再生モードで消去したい画像を選び、【▲】(MENU) を押して [再生] メニューから操作してください。

全ての画像を消去する

1

再生モードから【▲】(MENU)を押します。
[再生]メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [消去] を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で [全て] を選び、

SETを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- この時点ではまだ消去されていません。

4



[▲][▼]で[取消]/[実行]を選び、

SETを押します。

- ・[取消] を選ぶと、消去を中止して、[消去] メニューに戻ります。
 - ・[実行] を選ぶと全ての画像が消去されて「画像がありません」と表示されます。
- 操作は慎重に行ってください。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

応用操作編の各項の『モード』の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について 56

| | |
|--------------------|----|
| ■ 表示言語を設定する | 56 |
| ■ オートパワーオフの時間を設定する | 58 |
| ■ 画面表示を設定する | 60 |
| ■ ファイル番号をリセットする | 61 |
| ■ 液晶モニターの明るさを設定する | 63 |

撮影(静止画／動画(映像のみ))について 65

| | |
|-----------------------------|----|
| ■ シーンモードを設定する | 65 |
| ■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する | 67 |
| ■ 露出(明るさ)補正を設定する | 71 |
| ■ ISO感度(撮像感度)を設定する | 72 |
| ■ ホワイトバランスを設定する | 74 |
| ■ シャープネスを設定する | 76 |
| ■ 色効果を設定する | 77 |
| ■ コントラストを設定する | 78 |
| ■ 測光方式を設定する | 79 |
| ■ セルフタイマーで撮る | 81 |

再生(静止画／動画(映像のみ))について 83

| | |
|---|----|
| ■ スライドショー再生をする | 83 |
| ■ 画像保護を設定する | 85 |
| ■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする (コピー to SDカード機能) | 89 |

消去について 91

| | |
|------------|----|
| ■ フォーマットする | 91 |
|------------|----|

準備について

■ 表示言語を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語

英語 (English)

スペイン語 (Español)

中国語1 (繁體中文)

中国語2 (简体中文)

言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1



【▲】(MENU) を押して各メニューから、

【▶】で [設定] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [言語] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で設定したい
表示言語を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]
メニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、初期設定に戻す P35 操作や電源を
オフにした後も保持されます。

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

オートパワーオフの時間（1分／初期設定／2分／3分／オフ）を設定できます。オートパワーオフ機能について P29

1



【▲】(MENU) を押して各メニューから、



【▶】で [設定] メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で [オートパワーオフ] を選び、



SETを押します。

3



【▲】【▼】で [1分]／[2分]／[3分]／[オフ] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P35 操作を行うと [1分] に戻ります。
- USB接続やスライドショー再生 P83 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- オートパワーオフを [2分/3分/オフ] にした場合、約1分間無操作状態が続くと自動的に液晶モニターがオフになります（動作確認ランプは緑色点灯のままです）。この場合、電源ボタン以外のボタンを押すことで液晶モニターが復帰します。電源ボタンを押した場合は電源が切れます。

■ 画面表示を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

画面表示を【標準】／【初期設定】／【全て】／【オフ】から選ぶことができます。

1



【▲】(MENU) を押して各メニューから、



【▶】で【設定】メニューを表示させます。

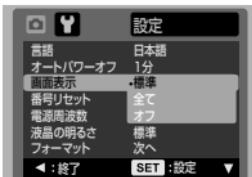
2



【▲】【▼】で【画面表示】を選び、

SETを押します。

3



【▲】【▼】で【標準】／【全て】／【オフ】を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、【設定】メニューに戻ります。

ここで選んだ画面表示は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P35 操作を行うと【標準】に戻ります。

■ ファイル番号をリセットする

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され、ファイル番号が0001から始まります。

フォルダ名について： ファイル名について：

XXX_HCAM HIMGYYYY.jpg (動画ファイルは.avi)

フォルダの通し番号
(100～999)

ファイルの通し番号
(0001～9999)

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
- 詳しいフォルダ構造については、**SDメモリーカード内の
フォルダ構造 P124** をご覧ください。

1

撮影

| | |
|----------|------|
| シーン | 次へ |
| サイズ | 9M |
| 露出補正 | 次へ |
| ISO | オート |
| 画質 | ファイン |
| ホワイトバランス | オート |
| シャープネス | 標準 |

◀ :終了 SET :設定 ▶



設定

| | |
|----------|-------|
| 言語 | 日本語 |
| オートパワーオフ | 1分 |
| 画面表示 | 標準 |
| 番号リセット | 次へ |
| 電源周波数 | 50 Hz |
| 液晶の明るさ | 標準 |
| フォーマット | 次へ |

◀ :終了 SET :設定 ▶

【▲】(MENU) を押して各メニューから、

【▶】で [設定] メニューを表示させます。

2

設定

| | |
|----------|-------|
| 言語 | 日本語 |
| オートパワーオフ | 1分 |
| 画面表示 | 標準 |
| 番号リセット | 次へ |
| 電源周波数 | 50 Hz |
| 液晶の明るさ | 標準 |
| フォーマット | 次へ |

◀ :終了 SET :設定 ▶



【▲】【▼】で [番号リセット] を選び、

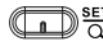
SETを押します。

3

番号リセット

| |
|-----|
| ・取消 |
| 実行 |

◀ :終了 SET :設定 ▶



【▲】【▼】で [取消] / [実行] を選び、

SETを押します。

- ・ [取消] を選ぶと、ファイル番号リセットを中止して、[設定] メニューに戻ります。
- ・ [実行] を選ぶと、ファイル番号をリセットし、[設定] メニューに戻ります。

■ 液晶モニターの明るさを設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

液晶モニターの明るさを【標準】／【初期設定】／【明るい】から選ぶことができます。

1

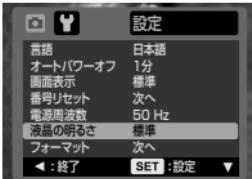


【▲】(MENU)を押して各メニューから、



【▶】で【設定】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【液晶の明るさ】を選び、



SETを押します。

3



【▲】【▼】で【標準】／【明るい】を選び、



SETを押します。

選んだ内容を保持し、【設定】メニューに戻ります。

- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P35 操作を行うと [標準] に戻ります。
- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、露出(明るさ)補正を設定する P71 をご覧ください。

撮影(静止画／動画(映像のみ))について

■ シーンモードを設定する モード設定：静止画撮影

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

| シーンモードの種類 | 設定内容 |
|-----------------------|---|
| A オート 初期設定 | カメラが自動的にシーンモードを設定します。通常の撮影時に使用するモードです。 |
| △ スポーツ | 速いシャッタースピードで撮影し、動いている被写体の撮影に適しています。 |
| ☆ 夜景 | 暗い雰囲気を保ち、夜景をきれいに撮影できます。 スローシャッターのため、三脚を使用するなどして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。 |
| 人物 | 背景をソフトな感じに仕上げ、人物を引き立てます。 |
| ▲ 遠距離 | 焦点距離を遠景に設定し、風景をくっきりと撮影できます。 |
| □ バックライト | 逆光時など背景が明るいときに、対象が暗くなるのを軽減します。 |
| ■ プログラムAE | 各種撮影設定をマニュアルで設定するモードです。 |

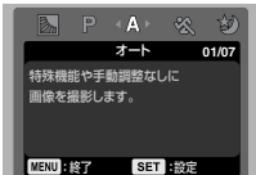
1

静止画撮影モードから
[▲](MENU)を押して
[撮影]メニューを表示
させます。

2

[▲][▼]で[シーンモード]
を選び、

SETを押します。

3

[◀][▶]で設定したい
シーンモードの種類を
選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだシーンモードの設定は、電源をオフにした後も保持
されますが、初期設定に戻す P35 操作を行うと[オート]に戻り
ます。

■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する

モード：静止画撮影／ 動画撮影

目的に応じて、画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定できます。

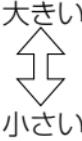
画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、記録できる画像枚数が少なくなります。

以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

[静止画]

| 項目 | 設定内容 | 用途の目安 |
|------------------|--------------------------|---|
| 画像サイズ (記録画素数) | ■ 3472×2604 (約900万画素) | 大きい ↑ 大切な画像を撮影したり、A3サイズなど大きくプリントしたい場合 |
| | ■ 2816×2112 (約600万画素) | L判サイズでプリントしたい場合 |
| | ■ 2304×1728 (約400万画素) | |
| | ■ 1600×1200 (約200万画素) | |
| 画質 (圧縮率) | VGA 640×480 (約30万画素) | より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合 ↓ 小さい |
| | ■ フайн (低圧縮モード) | 低圧縮 ↑ より良い画質で撮影やプリントしたい場合(画質優先) |
| | ■ 標準 (標準圧縮モード) | |
| | ■ エコノミー (高圧縮モード) | ↓ より多くの画像を撮影したい場合(撮影枚数優先) 高压縮 |

[動画]

| 項目 | 設定内容 | 用途の目安 |
|------------------|--|---|
| 画像サイズ (記録画素数) | VGA 640×480 | 大きい  小さい |
| | VGA 320×240 | 撮影時間優先 |
| 画質 (圧縮率) | <input checked="" type="checkbox"/> フайн | 低圧縮  高压縮 |
| | <input type="checkbox"/> 標準 | 撮影時間優先 |

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す P35** 操作を行うと静止画の画像サイズは **[3472×2604]** に、画質は **[ファイン]** に、動画の画像サイズは **VGA [640×480]** に、画質は **[ファイン]** に戻ります。
- 各画像サイズや画質での記録枚数については、**画像記録枚数・時間 P121** をご覧ください。

画像サイズを設定する

1



静止画撮影／動画撮影モードから【▲】(MENU)を押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【サイズ】を選び、



SETを押します。

3



【▲】【▼】で設定したい画像サイズを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、【撮影】メニューに戻ります。

画質を設定する

1



静止画撮影／動画撮影モードから【▲】(MENU)を押して【撮影】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【画質】を選び、

3



SETを押します。

【▲】【▼】で【ファイン】／【標準】／【エコノミー】を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、【撮影】メニューに戻ります。

■ 露出(明るさ)補正を設定する

モード：静止画撮影

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出(明るさ)を補正することができます。

- 設定できる露出補正值 (単位:EV (Exposure Value、露出量を表す単位))：

初期設定

-2、-1.7、-1.3、-1、-0.7、-0.3、0、0.3、0.7、1、1.3、1.7、2

暗くする

明るくする



静止画撮影モードから
【▲】(MENU)を押して
[撮影]メニューを表示
させます。



【▲】【▼】で [露出補正] を
選び、



SETを押します。



【◀】【▶】で露出補正值を
選び、



SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだ露出補正值は、電源をオフにしたり、初期設定に戻す

P35 操作を行うと [O] に戻ります。

■ ISO感度(撮像感度)を設定する

モード：静止画撮影

シーン：プログラムAE時のみ

ISO感度を設定できます。

ISO感度とは、写真用フィルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したもの。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光(暗い場所)での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

(表示なし) オート：カメラが自動的に撮像感度を設定します。初期設定

64 : ISO64相当

100 : ISO100相当

200 : ISO200相当

400 : ISO400相当

640 : ISO640相当

感度が低い



感度が高い

ISO感度を設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する P65

1



静止画撮影モードから
[▲](MENU) を押して
[撮影] メニューを表示
させます。

2



[▲][▼] で [ISO] を選び、



SETを押します。

3



【▲】【▼】でISO感度の値
を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P35 操作を行うと [オート] に戻ります。

■ ホワイトバランスを設定する

モード：静止画撮影

シーン：プログラムAE時のみ

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整するホワイトバランスを設定できます。

(表示なし) オート：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。

初期設定

- | | | |
|--------|-----------|-----------------|
| ● 白熱灯 | ：白熱灯下での撮影 | (色温度2600~7200K) |
| ■ 蛍光灯1 | ：蛍光灯下での撮影 | (色温度2800±200K) |
| ■ 蛍光灯2 | ：蛍光灯下での撮影 | (色温度4100±200K) |
| ● 晴天 | ：太陽光での撮影 | (色温度4600±200K) |
| ● 曇天 | ：曇天での撮影 | (色温度4900±300K) |

ホワイトバランスを設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する

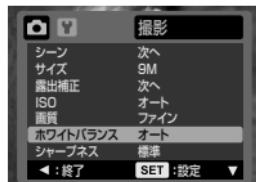
P65

1



静止画撮影モードから
[▲]([MENU])を押して
[撮影]メニューを表示
させます。

2



[▲][▼]で[ホワイト
バランス]を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で設定したいホワイトバランスの種類を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]メニューに戻ります。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P35** 操作を行うと [オート] に戻ります。

■ シャープネスを設定する モード：静止画撮影 シーン：プログラムAEのみ

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。

ハード：鮮鋭度が高い

標準 **初期設定**

ソフト：鮮鋭度が低い

シャープネスを設定するには、シーンモードが **P [プログラムAE]** に設定されている必要があります。シーンモードを設定する **P65**

1



静止画撮影モードから
[▲] (MENU) を押して
[撮影] メニューを表示
させます。

2



[▲] [▼] で [シャープ
ネス] を選び、

3



SETを押します。

[▲] [▼] で [ハード] /
[標準] / [ソフト] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P35 操作を行うと [標準] に戻ります。

■ 色効果を設定する

モード：静止画撮影／ 動画撮影
シーン：プログラムAE時のみ(静止画撮影)

撮影画像の色効果を設定できます。

標準 **初期設定**

セピア

ビビット

白黒

色効果を設定するには、静止画撮影では、シーンモードが

P [プログラムAE] に設定されている必要があります。

シーンモードを設定する P65

1



静止画撮影／ 動画撮影
モードから**【▲】(MENU)**を押して**[撮影]**メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で[色効果]を選び、

SETを押します。

3



【▲】【▼】で[標準]/[ビビット]/[セピア]/[モノクロ]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、**[撮影]**メニューに戻ります。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P35 操作を行うと**[標準]**に戻ります。

■ コントラストを設定する モード：静止画撮影 シーン：プログラムAEのみ

撮影画像のコントラスト（明暗の差）を設定できます。

高：明暗がはっきりする

標準 **初期設定**

低：明暗が平坦になる

コントラストを設定するには、シーンモードが **P [プログラムAE]** に設定されている必要があります。シーンモードを設定する **P65**

1



静止画撮影モードから
【▲】(MENU) を押して
[撮影]メニューを表示
させます。

2



【▲】【▼】で [コントラスト]
を選び、



SETを押します。

3



【▲】【▼】で [高] / [標準]
/ [低] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだコントラストは、電源をオフにした後も保持されます
が、初期設定に戻す **P35** 操作を行うと [標準] に戻ります。

■ 測光方式を設定する

モード：静止画撮影

シーン：プログラムAE時のみ

測光方式を切り替えて撮影できます。

中央：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。 **初期設定**

スポット：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

アベレージ：液晶モニター画面全体を平均的に測光します。

測光方式を設定するには、シーンモードが **P [プログラムAE]** に設定されている必要があります。 **シーンモードを設定する P65**

1



静止画撮影モードから
[▲] (MENU) を押して
[撮影] メニューを表示
させます。

2



[▲] [▼] で [測光方式] を
選び、

SETを押します。



3



【▲】【▼】で [中央] /
[スポット] / [アベレージ]
を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]
メニューに戻ります。

ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P35 操作を行うと [中央] に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード：静止画撮影／ 動画撮影

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

: 2秒後に撮影されます。

- ・暗い場所やズームを使うなど手ぶれが起きやすい条件下での撮影時に、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに効果的です。

: 10秒後に撮影されます。

1



静止画撮影／ 動画撮影
モードで、【◀】(心)を
押します。

セルフタイマー設定選択画面
になります。

2

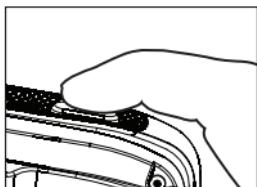


【◀】【▶】で設定したい
タイマー時間を使い、

SETを押します。

液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。
(オフの場合は表示されません)

3



構図を決め、被写体をフォーカスフレームに合わせシャッターボタンを押します。

- セルフタイマーランプ(レッド)の点滅と液晶モニター内に数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に撮影されます。

- セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、シャッターボタンを押します。
- 撮影時の各設定(サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正值など)はセルフタイマー撮影時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

再生(静止画／動画(映像のみ))について

■ スライドショー再生をする

モード：  再生

メモリー内にある全ての画像を3秒／5秒 **初期設定** ／10秒

間隔でスライドショー再生することができます。

1



2



再生モードから【▲】(MENU)を押して【再生】メニューを表示させます。

**【▲】【▼】で【スライド
ショー】を選び、**

SETを押します。

3



**【▲】【▼】で【3秒】／【5秒】
／【10秒】を選び、**

SETを押します。

表示中の画像から設定した
再生間隔で、スライドショー
再生を開始します。



・再生中に、SETを押すと、表示中の画像でスライドショー再生を停止します。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。
- スライドショー再生中はオートパワーオフ機能 P29 ははたらきません。

■ 画像保護を設定する

モード： 再生

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルに保護をかけることができます。

画像保護を設定する方法には、

- ・1枚ずつ画像保護を設定する
- ・全ての画像に保護を設定する

の2つの方法があります。

- ・保護された画像は消去できません。消去したい場合は、保護設定を解除してください。
- ・保護された画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする **P91** 操作を行うと消去されます。
- ・保護を設定していないなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ **P34** を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。

1枚ずつ画像保護を設定する

1



【】【】で保護したい画像を選びます。

- ・動画像の場合には最初の1フレームが表示されます。

2



【（MENU）】を押して [再生] メニューを表示させます。

3

【▲】【▼】で【保護】を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で【一枚】を選び、

SETを押します。

5

【▲】【▼】で【設定】／
【解除】／【終了】を選び、

SETを押します。

選んだ内容が実行され、
保護メニューに戻ります。

- ・[設定] を選ぶと、選んだ画像が保護され、液晶モニターに が表示されます。

液晶モニターの表示が「オフ」に設定されている場合は、
 は表示されません。

- ・[解除] を選ぶと、選んだ画像の保護が解除されます。
- ・[終了] を選ぶと、保護設定を終了します。
- ・続けて保護を設定する場合は、再度再生モードで画像を選び、
【▲】(MENU)を押して [再生] メニューから操作して
ください。

全ての画像に保護を設定する

1



□再生モードから【▲】(MENU)を押して【再生】メニューを表示させます。

2



【▲】【▼】で【保護】を選び、

SETを押します。

3



【▲】【▼】で【全て】を選び、

SETを押します。

4



【▲】【▼】で【設定】／
【解除】／【終了】を選び、

SETを押します。

選んだ内容が実行され、保護
メニューに戻ります。

- ・[設定] を選ぶと、全ての画像が保護され、液晶モニターに が表示されます。

液晶モニターの表示が「オフ」に設定されている場合
は、 は表示されません。

- ・[解除] を選ぶと、全て画像の保護が解除されます。
- ・[終了] を選ぶと、保護設定を終了します。

■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

モード：  再生

内蔵メモリ（16MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。

SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、必ず電池残量を確認してから行ってください。
コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
- 本操作を行うと、内蔵メモリ内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

■再生モードから【▲】(MENU)を押して【再生】メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で【カードへコピー】を選び、

SETを押します。

コピー確認の画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で【取消】／【実行】を選び、

SETを押します。

- ・[実行]を選ぶと「お待ちください」と表示され、内蔵メモリー内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーし、再生モードに戻ります。
- ・[取消]を選ぶとコピーを中止して、[再生]モードに戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

消去について

■ フォーマットする

モード：静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

SDメモリーカードについて P14 をあわせてご覧ください。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマットしてから使用してください。
- フォーマットすると内蔵メモリまたはSDメモリーカード内のデータが全て消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

※保護 P85 されている画像も消去されます。

- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できない場合があります。

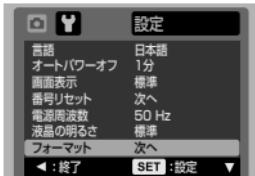
1



【▲】(MENU)を押して各メニューから、



【▶】で【設定】メニューを表示させます。

2

[▲][▼]で[フォーマット]を選び、

SETを押します。

確認画面が表示されます。

3

[▲][▼]で[取消]／[実行]を選び、

SETを押します。

- [取消] を選ぶと、フォーマットを中止して、[設定] メニューに戻ります。

- [実行] を選ぶと「お待ちください」と表示され、フォーマットを実行し、[完了] の表示後 [設定] メニューに戻ります。操作は慎重に行ってください。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

パソコンの動作環境を確認する ————— 94

パソコンと接続する場合の流れ ————— 94

1 カメラとパソコンを接続する ————— 95

2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続) ————— 98

3 カメラを取り外すときは ————— 100

パソコン接続でお困りの時の確認方法 ————— 102

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。

接続する前に必ずご確認ください。

□ OS : Microsoft Windows XP/Vista/7

日本語版

□ USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。

パソコンには【リムーバブルディスク】として認識されます。

1

カメラとパソコンを接続する P95

※初回接続時は【新しいハードウェアが見つかりました】ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

2

【マイコンピュータ】または【コンピュータ】を開き、【リムーバブルディスク】（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。 P98

3

カメラを取り外す P100

1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。

• USB接続中はオートパワーオフ機能 P29 ははたらきません。

- カメラとパソコンを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。

パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。

接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

- 電源はパソコン本体から供給されません。

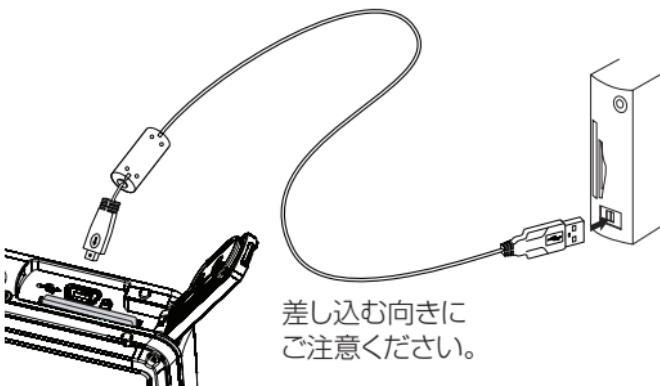
- コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

- カメラを取り外すときは、必ずカメラを取り外すときはに従って操作してください。

- パソコンでのフォーマットは行わないでください。

- 1** カメラの電源をオフにして、USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

パソコンは起動した状態で操作してください。



- 2** カメラの電源をオンにします。

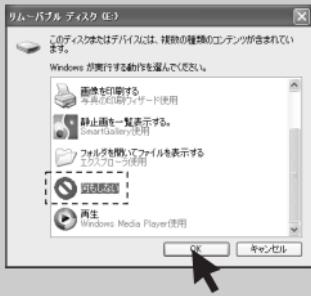
[USB] メニューが表示されます。



- 3**  SETを押します。

液晶モニターがオフになります。

- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行ふため、[新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示される場合があります。
設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- [新しいハードウェアの検索ウィザード] 画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリック、または右上の [☒] をクリックします。

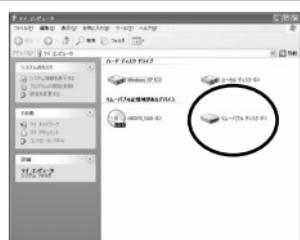


2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ/ライタ接続)

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所(マイドキュメント内など)へコピーしてから行うことをおすすめします。

イラストはWindows XPで説明しています。

1

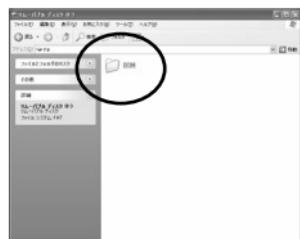


1 カメラとパソコンを接続する

P95 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ]または[コンピュータ]から[リムーバブルディスク]をダブルクリックして開きます。

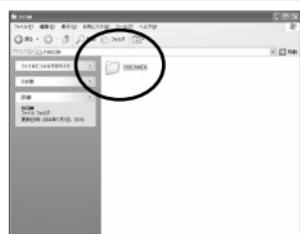
- [リムーバブルディスク]が表示されていない場合は、**パソコン接続でお困りの時の確認方法 P102**をご覧ください。

2



[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3



[100_HCAM](コピーしたい画像の入っている) フォルダをダブルクリックして開きます。

4



パソコンにコピーする(取り込む)画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所(マイドキュメント内など)にドラッグ&ドロップしてコピーします。

- ・同様に任意の場所(マイコンピュータなど)から任意のデータを、フォルダ(カメラ)内にドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。・

ドラッグ&ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。

画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動(ドラッグ)させ、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)ことです。

- コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ(カメラ)内にコピーしたデータはフォーマットする
P91 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

- 1 カメラを利用しているアプリケーションを全て終了します。

2



タスクバー

タスクバー上の[ハードウェアの取り外し]アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで【停止します(取り外します)】をクリックします。

〈Windows 7の場合〉 [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]



〈Windows Vistaの場合〉 [ハードウェアの安全な取り外し]



〈Windows XPの場合〉 [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E) を安全に取り外します]



【停止します(取り外します)】をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

(Windows XP/7では [OK] のクリックは不要です。)

4 カメラを取り外します。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

デジタルカメラ(以下、カメラ)をパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコンとの接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 最初に、ご使用のパソコンに接続されておりますすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱いたしております専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかりと装着されているか、ご確認ください

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？

Windows 98/98SE/ME/2000→弊社カメラはWindows 2000以前のOSのサポートはいたしておりません。

Windows XP/Vista/7→**3**へ進んでください。

3 アルカリ乾電池を新品に入れ換える。(充電池の場合は充電する)

確認結果：認識されない。→Windows 7をご使用の場合は、

4へ進んでください。

Windows Vistaをご使用の場合は、**5**へ進んでください。

Windows XPをご使用の場合は**6**へ進んでください。

認識された。→電池が消耗していたと思われます。

4

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



- 1) “スタート”をクリックする。



- 2) “コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ”が表示されない。
→ **9** へ進んでください。



- 3) システム情報の画面が表示されます。
- 4) システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。



- 5) “デバイスマネージャ”が開きます。
- 6) “デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的左側の“▷”をクリックする。



- 7) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的詳細が表示されます。
- 8) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **7** へ進んでください。

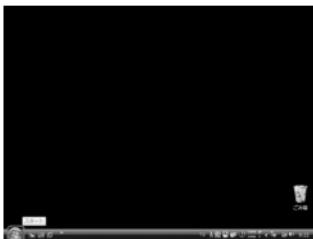
“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

5

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



- 1) “スタート”をクリックする。



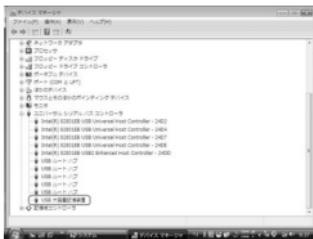
- 2) “コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ”が表示されない。
→ 9 へ進んでください。



- 3) システム情報の画面が表示されます。
 - 4) システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。
 - 5) “ユーザー帳票”の画面が表示されますので、“続行”を選択する。



- 6) “デバイスマネージャ”が開きます。
- 7) “デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的左側の“+”をクリックする。



- 8) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”的詳細が表示されます。
- 9) “ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **7** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

6

次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

- 1) “スタート”をクリックする。



- 2) “マイコンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。

“プロパティ”が表示されない。
→ 9へ進んでください。

- 3) “システムのプロパティ”が開きます。
- 4) “システムのプロパティ”上段の“ハードウェア”を選択する。

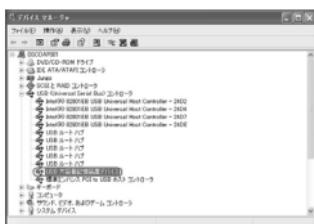




5) “デバイスマネージャ”をクリックする。



- 6) “デバイスマネージャ”が開きます。
- 7) “デバイスマネージャ”の中の“USB”(Universal Serial Bus)コントローラの左側の“+”をクリックする。



- 8) “USB”(Universal Serial Bus)コントローラの詳細が表示されます。
- 9) “USB”(Universal Serial Bus)コントローラの中に“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **7** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

7 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： **8** へ進んでください。

いいえ： **11** へ進んでください。

8 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： **12** へ進んでください。

いいえ： **10** へ進んでください。

9 “コンピュータ”(Windows 7/Vistaの場合)もしくは、“マイコンピュータ”(Windows XPの場合)の“プロパティ”が表示されない。

要因：・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。

10 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ”等に表示されない。(Windows 7/Vistaの場合) “USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているが、“マイコンピュータ”等に表示されない。(Windows XPの場合)

要因：・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

11 “USB大容量記憶装置”(Windows 7/Vistaの場合) もしくは、“USB大容量記憶装置デバイス”(Windows XPの場合)が表示されていない

要因 : · カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
· パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

12 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因 : · パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいたいて問題はございません。

付録

| | |
|------------------------|-----|
| ■ 故障とお考えになる前に | 112 |
| ■ 仕様 | 120 |
| ■ メニュー項目と設定内容 | 122 |
| ■ 索引 | 123 |
| ■ メモリ(メモリーカード)内のフォルダ構造 | 124 |
| ■ サービス／ご相談窓口 | 125 |
| ■ クイックスタートガイド | 126 |

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------|---|---|
| 電源がオンにならない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源ボタンを押す操作が短すぎた。 ●電池が正しく入っていない。 ●電池が消耗している。 ●内部システムなどの誤動作。 | <p>→もう一度しっかりと電源ボタンを押す。P28</p> <p>→電池を正しく入れる。P26</p> <p>→新しい電池と交換する。P26</p> <p>→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにする。</p> |
| 電池の消耗が早い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源オン／オフの回数が多い。 ●温度が極端に低いところで使用している。 ●高解像度、ストロボ撮影を多用している。 ●再生モードを多用している。 ●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。 | — |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--------------|-----------------------------------|--|
| 電源が途中でオフになる。 | •オートパワーオフ機能 P29 がはたらいた。 | →もう一度電源をオンにする。 P28 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。 P58 |
| | •電池が消耗している。 | →新しい電池と交換する。 P26 |

静止画・動画(映像のみ)を撮る

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------|--|--|
| 液晶モニターに被写体が写らない。 | •再生モードになっている。 | → [■] を押して、撮影モードに切り替える。 P20 |
| | •電源がオフになっている。 | →電源をオンにする。 P28 |
| | •暗いところで撮影している。 | →なるべく明るい場所で撮影する。 |
| 撮影できない | •画像記録中・ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 | →動作確認用ランプが点灯している状態で撮影する。 P20 |
| | •静止画撮影時、動画(映像のみ)撮影モードになっている。 | → [▼](MODE) を押して、静止画撮影モードに切り替える。 P19 |
| | •静止画撮影時、再生モードになっている。 | → [■] を押して、撮影モードに切り替える。 P20 |
| | •動画(映像のみ)撮影時、静止画撮影モードになっている。 | → [▼](MODE) を押して、動画(映像のみ)撮影モードに切り替える。 P19 |
| | •動画(映像のみ)撮影時、再生モードになっている。 | → [■] を押して、撮影モードに切り替える。 P20 |
| | •オートパワーオフ機能 P29 がはたらき、電源がオフになった。 | →もう一度電源をオンにする。 P28 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。 P58 |

付

故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------|---|---|
| 撮影できない。 | •メモリ残量がない。 | →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P50 か、別のSDメモリーカードと交換する P32 。 →画像サイズを小さくする。 P69 |
| | •SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードロック」が表示) | →SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。 P34 |
| | •SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。 | →データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。 P91 |
| ストロボ撮影ができない。 | •ストロボモードが④発光禁止モードになっている。 | →ストロボモードをオートもしくは発光モードにする。 |
| | •電池残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。 | →新しい電池と交換する。 P26 |
| | •被写体が明るい。 | — |
| ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。 | •被写体が遠い。 | →ストロボ連動範囲(約60cm～約200cm)で撮影する。 |
| | •ストロボ連動範囲より被写体が近い。 | →ストロボ連動範囲(約60cm～約200cm)で撮影する。 |
| 撮影画像がぼやけている。 | •レンズに指がかかっている。 | →レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。 |
| | •近距離モードで遠景を撮影している。 | →標準モード(約130cm～∞)に切り替える。 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------|---------------------------|--|
| 撮影画像がぼやけている。 | •被写体が近すぎる。 | →撮影可能範囲（近距離時：約70cm～約130cm、標準時：約130cm～∞）で撮影する。 |
| | •レンズが汚れている。 | →レンズをメンテナンスする。 |
| | •画像ブレ・手ブレ | →しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。 |
| 画像にノイズがある。 | •パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。 | — |
| 動画(映像のみ)撮影時に撮影が途中でストップする。 | •撮影に必要なメモリ残量がない。 | →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P50 か、別のSDメモリーカードと交換する P32 。 |
| 静止画／動画(映像のみ)が見れるのに撮影できない。 | •電池が消耗している。 | →新しい電池と交換する。 P26 |
| 内蔵フラッシュメモリ(16MB)に記録できない。 | •SDメモリーカードが装着されている。 | →電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。 P32 |

静止画／動画(映像のみ)を見る

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------|---|---------------------------------|
| 再生できない。 | •再生モードになっていない。 | → □を押して、再生モードに切り替える。 P20 |
| | •他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。 | — |

画像を消去する

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--------------|---|--------------------------------------|
| 消去できない。 | •SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止) スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードロック」が表示) | →SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。 P34 |
| 誤って消去してしまった。 | •一度消去したファイルは元に戻せません。 | — |

画像ファイルをパソコンにコピーする

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|---|
| カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど) | •付属のUSBケーブルを使用していない。 | →付属のUSBケーブルを使う。 |
| | •USBケーブルが正しく接続されていない。 | →パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。 |
| | •パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。 | →キーボード／マウス以外は取り外す。 |
| | •本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。 | →[USB大容量記憶デバイス]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス]を[削除]してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。 |

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ]は、[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、

116 [システムのプロパティ]から開きます。



| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|--|
| カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど) | <ul style="list-style-type: none"> パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。 | <p>→[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。</p> <p>→[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> USBケーブルが正しく接続されていない。 | <p>→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。</p> <p>→他のUSBポートに接続する。</p> |
| USB接続してもカメラの電源がオフになる。 | <ul style="list-style-type: none"> カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。 | <p>→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。</p> |
| カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。 | <ul style="list-style-type: none"> 通信中にカメラを取り外した。 | <p>→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「カメラを取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。 | <p>→「カメラを取り外すときは」P100に従って操作する。</p> |

その他

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 表示言語が英語になっている。 | ●[表示言語 (Language)] が [English] なっている。 | →[表示言語] を [日本語] に切り替える。P56 |
| 液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。 | ●液晶の性質による現象 | →故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。 |
| 液晶モニターに光の帯が出る | ●液晶の性質による現象 | →故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。※動画像には記録されます。 |
| カメラの操作ができない。(動作確認用ランプが消灯、または点滅したままなど) | ●内部システムやメモリーカードなどの誤動作 | <ul style="list-style-type: none"> →電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げの販売店へご相談ください。 |
| | ●電池が消耗している。 | →新しい電池と交換する。 |
| 液晶モニターが突然オフになる。 | ●オートパワーオフ機能 P29 がはたらいた。 | <ul style="list-style-type: none"> →もう一度電源をオンにする。P28 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P58 →オートパワーオフを[2分/3分/オフ]にした場合、約1分間無操作状態が続くと自動的に液晶モニターがオフになります(動作確認ランプは緑色点灯のままです)。この場合、電源ボタン以外のボタンを押すことで液晶モニターが復帰します。電源ボタンを押した場合は電源が切れます。 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|----------------------|---------------------|------------------------------|
| SDメモリーカードが突然使えなくなった。 | ●静電気等の外部からのノイズによる現象 | →再度、フォーマットしてください。 P91 |

警告表示など

| 表示 | 原因 | 処置 |
|---------------|---|--|
| メモリーエラー | ●内蔵メモリに異常が発生した可能性がある。 | →SDメモリーカードを本機から取り外し、内蔵メモリのフォーマットを行ってください。 P91 |
| カードエラー | ●SDメモリーカードが本機でフォーマットされていない。 | →SDメモリーカードを本機でフォーマットをしてください。 P91 |
| | ●SDメモリーカードが壊れている。 | →お使いのSDメモリーカードのメーカーへお問い合わせください。 |
| カードロック | ●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。 | →SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。 P34 |
| メモリ不足 | ●SDメモリーカードに空き容量がない。 | →画像を消去するか、空き容量のあるSDメモリーカードを使用してください。 P50 |
| メモリーに空きがありません | ●内蔵メモリに空き容量がない。 | →画像を消去して、空き容量を増やしてください。 P50 |
| 画像がありません | ●再生できる画像ファイルが入っていない。 | — |
| ファイルエラー | ●ファイルに異常が発生した可能性がある。 | →なんらかの原因でファイルが壊れた可能性があります。 |
| ファイル保護 | ●画像保護が設定されている。 | →画像保護の設定を解除する。 P85 |
| 電池残量がありません | ●電池の残量がありません。 | →新しい電池と交換してください。 |

付

録

故障とお考えになる前に

■ 仕様

| | | |
|----------|--|---|
| 有効画素数 | 約900万画素 | |
| 撮像素子 | 1/2.3インチCMOSセンサー (総画素数：約904万画素) | |
| 記録媒体 | SDメモリーカード(32/64/128/256/512MB/ 1/2/4/8GB(SDHC対応)(※1)、内蔵16MB フラッシュメモリ(※2) | |
| 静止画 | 記録画像ファイルフォーマット | JPEG準拠(DCF2.0、EXIF2.2準拠) |
| | 記録画素数 | 3472×2604(約900万画素) 2816×2112(約600万画素) 2304×1728(約400万画素) 1600×1200(約200万画素) 640×480(約30万画素) |
| | JPEG圧縮率 | ファイン(低圧縮モード) 標準(標準圧縮モード) エコノミー(高圧縮モード) |
| 動画 | 記録画像ファイルフォーマット | AVI(Motion JPEG(映像のみ)) |
| | 記録画素数 | VGA(640×480ピクセル)、 QVGA(320×240ピクセル) |
| | フレームレート | 約30フレーム/秒 |
| レンズ | 構成 | 4群4枚 |
| | 焦点距離 | f=7.9mm(35mmフィルム換算：約44.79mm) |
| | F値(最大値) | F3.0(W) |
| 焦点調節 | 固定焦点方式 | |
| ズーム | デジタル6倍ズーム | |
| 液晶モニター | 2.5型TFTカラー液晶 約23.0万画素(960×240ピクセル) | |
| 撮影可能範囲 | 標準：約130cm～∞、近距離：約70cm～約130cm | |
| シャッター | 電子シャッター、1～1/1000秒(オート) | |
| 撮像感度 | オート/ISO64/100/200/400/640 | |
| 測光方式 | 中央部重点平均測光 | |
| 露出 | 制御方式 | プログラムAE |
| | 補正 | -2.0EV～+2.0EV(1/3EVステップ) |
| ホワイトバランス | オート/プリセット(白熱灯/蛍光灯1/蛍光灯2/ 晴れ/曇り) | |
| ストロボ | 連動範囲(推奨) | 約60cm～約200cm |
| | 発光モード | オート/強制発光/発光禁止/赤目軽減 |
| セルフタイマー | 2秒/10秒 | |
| 撮影モード | シングル(通常)撮影、動画(映像のみ)撮影 | |
| 再生モード | シングル(通常)再生、ズーム再生(最大4倍、1.0倍 ステップ)、スライドショー再生、動画(映像のみ)再生 | |
| オートパワーオフ | 1分/2分/3分/オフ | |
| インターフェース | USB端子(USB(2.0仕様)) | |
| 電源 | 単4形乾電池2本(アルカリ乾電池/ニッケル水素 電池(別売)) | |
| 外形寸法 | 幅94×高さ63×奥行24.4mm(突起部除く) | |
| 質量 | 約119g(電池、付属品除く) | |
| 生活防水(※3) | 本機の試験条件：水深1.0m/1.0h | |
| 使用条件 | 0℃～40℃、湿度85%以下(結露しないこと) | |

- (※1) SDメモリーカードは別売です。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
- (※2) 内蔵フラッシュメモリは、一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約10MBです。
- (※3) 本機は日常生活防水の性能を備えております。日常生活防水とは、雨天時や日常生活における水しぶき(雨および汗や洗顔の時の水しぶき)に対する防水性能を指し、水中撮影や強烈な水しぶき(水仕事、水上スポーツ、素潜りなど)に対して保証するものではありません。(日常生活防水：本機の試験条件(水深1m／1h))
取扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、カメラや乾電池、メモリーカードの損傷、および記録内容の補償はいたしかねます。

画像記録枚数・時間／データサイズ (※4)

| 記録画素数 (ピクセル) | JPEG 圧縮率 | 内蔵16MB フラッシュメモリ | SDメモリーカード 1GB(別売) |
|------------------------|-------------|--------------------|----------------------|
| 3472×2604 (約900万画素) | ファイン | 約3枚 | 約402枚 |
| | 標準 | 約4枚 | 約454枚 |
| | エコノミー | 約5枚 | 約503枚 |
| 2816×2112 (約600万画素) | ファイン | 約4枚 | 約477枚 |
| | 標準 | 約6枚 | 約594枚 |
| | エコノミー | 約7枚 | 約687枚 |
| 2304×1728 (400万画素) | ファイン | 約8枚 | 約827枚 |
| | 標準 | 約9枚 | 約909枚 |
| | エコノミー | 約11枚 | 約1055枚 |
| 1600×1200 (約200万画素) | ファイン | 約17枚 | 約1658枚 |
| | 標準 | 約21枚 | 約2013枚 |
| | エコノミー | 約23枚 | 約2168枚 |
| 640×480 (約30万画素) | ファイン | 約45枚 | 約4205枚 |
| | 標準 | 約53枚 | 約4919枚 |
| | エコノミー | 約63枚 | 約5887枚 |
| 640×480【動画】 (VGA) | ファイン | 約11秒 | 約18分15秒 |
| | 標準 | 約17秒 | 約26分29秒 |
| 320×240【動画】 (QVGA) | ファイン | 約39秒 | 約60分42秒 |
| | 標準 | 約53秒 | 約81分51秒 |

(※4) 画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安 (※5)

| 使用電池 | 撮影可能枚数 CIPA (※6) | 再生時間 (※7) |
|----------------|---------------------|--------------|
| 単4形アルカリ乾電池(付属) | 約80枚 | 約80分 |

(※5) 標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。

(※6) CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による撮影条件

- 30秒間隔でストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

(※7) 約3秒1コマを連続で再生した場合

■ メニューと設定項目

【 】：初期設定

| 動作モード | メニュー | 設定項目 | 設定内容 |
|----------|--------|----------|--|
| 静止画撮影モード | 撮影メニュー | シーン | P65 【オート】／スポーツ／夜景／人物／遠距離／バックライト／プログラムAE |
| | | サイズ | P69 【9M】／6M／4M／2M／VGA |
| | | 露出補正 | P71 -2／-1.7／-1.3／-1.0／-0.7／-0.3／【0.0】／+0.3／+0.7／+1.0／+1.3／+1.7／+2.0 (EV) |
| | | ISO | P72 【オート】／64／100／200／400／640 |
| | | 画質 | P70 【ファイン】／標準／エコノミー |
| | | ホワイトバランス | P74 【オート】／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴れ／曇り |
| | | シャープネス | P76 ハード／【標準】／ソフト |
| | | 色効果 | P77 【標準】／ビビット／セピア／モノクロ |
| | | コントラスト | P78 高／【標準】／低 |
| | | 測光方式 | P79 【中央】／スポット／アベレージ |
| モード撮影 | 撮影メニュー | サイズ | P69 【VGA】／Q-VGA |
| | | 画質 | P70 【ファイン】／標準 |
| | | 色効果 | P77 【標準】／ビビット／セピア／モノクロ |
| 再生モード | 再生メニュー | 消去 | P50 画像を消去します。 |
| | | スライドショー | P83 スライドショー再生を開始します。 |
| | | 保護 | P85 画像保護を設定します。 |
| | | カードへコピー | P89 内蔵メモリからSDメモリーカードへ画像をコピーします。 |
| 各モード共通 | 設定メニュー | 言語 | P56 【日本語】／English／スペイン語／繁體中文／簡体中文 |
| | | オートパワーオフ | P58 【1分】／2分／3分／オフ |
| | | 画面表示 | P60 【標準】／全て／オフ |
| | | 番号リセット | P61 画像ファイル番号をリセットします。 |
| | | 電源周波数 | P30 【50 Hz】／60 Hz |
| | | 液晶の明るさ | P63 【標準】／明るい |
| | | フォーマット | P91 内蔵メモリ、SDメモリーカードをフォーマットします。 |
| | | メディア情報 | P32 使用メモリーのサイズ、メモリー残量を表示します。 |
| | | システム | バージョン情報を表示します。 |
| | | 初期設定に戻す | P35 各設定内容を初期設定に戻します。 |

■ 索引

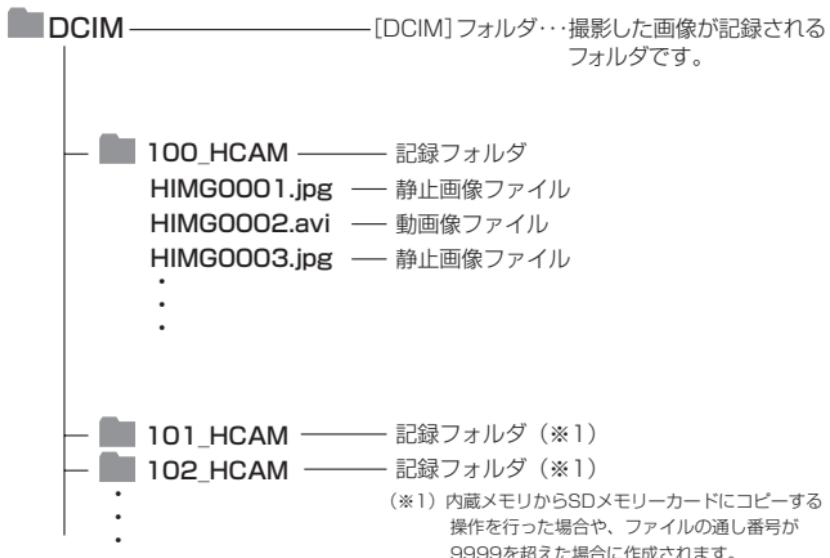
| | |
|--------------|----------|
| ア行 | |
| 赤目軽減 | 40 |
| 色効果 | 77 |
| 液晶モニター | 13、21 |
| オートパワーオフ | 29、58 |
| カ行 | |
| 各部の名前 | 17 |
| 画質 | 67 |
| 画像サイズ(記録画素数) | 67 |
| 画面表示切換 | 24、60 |
| 逆光補正 | 65 |
| 強制発光 | 40 |
| 記録可能枚数／時間 | 121 |
| クリックスタートガイド | 126 |
| 言語 | 56 |
| コントラスト | 78 |
| サ行 | |
| 再生 | 47 |
| 再生メニュー | 122 |
| 再生ズーム | 48 |
| 消去 | 50 |
| 撮影メニュー | 122 |
| 撮影モード | 19 |
| 自動発光 | 40 |
| シャッター | 39 |
| シャープネス | 76 |
| 仕様 | 120 |
| 初期設定 | 35 |
| シーンモード | 65 |
| ストロボ | 40 |
| ズーム撮影 | 42 |
| ズーム再生 | 48 |
| ストラップ | 16、18 |
| スポット測光 | 79 |
| スライドショー | 83 |
| 静止画撮影 | 38 |
| 設定メニュー | 122 |
| セルフタイマー | 81 |
| 測光方式 | 79 |
| マ行 | |
| フォルダ | 61、124 |
| 保護 | 85 |
| ホワイトバランス | 74 |
| ヤ行 | |
| マクロ撮影 | 43 |
| 見る | 47 |
| メディア情報 | 32 |
| メニュー | 122 |
| 有効画素数 | 13、120 |
| タ行 | |
| デジタルズーム | 42 |
| 電源 | 28 |
| 電池 | 26 |
| 電池残量 | 27 |
| 動画撮影 | 44 |
| 動画ファイル | 46 |
| 撮る | 38、44 |
| ナ行 | |
| 内蔵メモリ | 32、89 |
| 日常生活防水 | 8 |
| ハ行 | |
| パソコン | 94 |
| パソコン接続 | 95 |
| バージョン情報 | 122 |
| 発光禁止 | 40 |
| ファイル | 61 |
| フォーマット | 91 |
| 英数 | |
| ISO | 72 |
| JPEG | 46、120 |
| OS | 94 |
| SDカード | 14、32、89 |
| USB接続 | 95 |
| USBケーブル | 16、96 |
| Windows | 94 |

付

録

メニューと設定項目・索引

■ SDメモリーカード内のフォルダ構造



家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(365日)/
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いに
についてのご相談は

お客様相談センターへ

TEL 0120-8802-28
FAX 03-3260-9739

(受付時間) 9:00~17:30/携帯電話、
PHSからもご利用できます。土曜・日曜・
祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の
休日は休ませていただきます。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証書の記載内容にもとづいて修理させていただきます。

保証期間が
過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理
させていただきます。

保証期間

お買い上げ日から本体1年です。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて各地区的サービスセンターを紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

株式会社日立リビングサプライ: ホームページアドレス

<http://www.hitachi-ls.co.jp/>

付

録

スマートカード内のオルダ機能
サービスのご相談窓口

撮影する 詳しくは静止画を撮る P38 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、電池を入れる P26 に従って、電池を挿入してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、SDメモリーカードを使う場合 P32 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードは別売です。

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

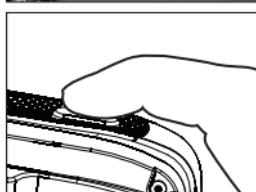
3



被写体をフォーカスフレームに合わせシャッターボタンを押します。

シャッターがきれます。

撮影後に動作確認用ランプが点滅している場合は、画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。



撮影した画像を見る

詳しくは静止画／動画（映像のみ）を見る
P47 をご覧ください。

撮影した静止画や動画（映像のみ）は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（2倍、3倍、4倍）P48、スライドショー再生 P83、動画（映像のみ）再生 P49 があります。

シングル再生をする

1



□を押して再生モードに切り替えます。

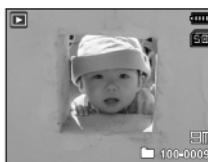
最後に撮影された画像が表示されます。（シングル再生）

2



【◀】【▶】で画像を選びます。

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。



デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

| | | | |
|---------------------------------|----------|---------------|-----------|
| 形 名 | HDC-W902 | ※ お 買 い 上 げ 日 | 保 証 期 間 |
| ※お 客 様 | ご 住 所 | 平 成 年 月 日 | 本 体 : 1 年 |
| ※販 売 店 | ご 芳 名 | 様 | |
| ※販 売 店 | 住 所 | 〒 - | TEL |
| ※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。 | | | |

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (二) 車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
- (ヘ) 本書のご提示がない場合。
- (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。

3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP125のご相談窓口にお問い合わせください。

5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP125のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)

TEL. 03(3260)9611

FAX. 03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。